

TOKYO Xで食育

ミート・コンパニオンが

(株)ミート・コンパニオン(阿部昌史社長)は11月9〜10日、東京都渋谷区の代々木公園で開催された「第12回東京都食育フェア」に出展。ブースではTOKYO Xを試食提供し、2日間合計で10キを来場者に振る舞った。

アンケートに回答してもらい、幅広い年齢層の人がTOKYO Xの味を高く評価した。

ミート・コンパニオンフードサービス部の伊藤晴規部長は「普段は豚肉を嫌がって食べないお子さんが、今回の試食ではおかわりまでして食べたこととお母さんが驚かれるということもあった。

今回はTOKYO Xの豚肉そのものを味わってもらうため、バラを焼き肉にして、塩こしょうのみのシンプルな味付けで提供。試食した人にTOKYO Xに関するア

ンケートに回答してもらい、幅広い年齢層の人がTOKYO Xの味を高く評価した。

「アンケートの回答を見ると、まだまだTOKYO Xを知らないという方も多い。消費者へのさらなる浸透を図ること



2日間合計で10キを来場者に振る舞った

が今後の課題であり、実際にTOKYO Xを買える場所、食べられる場所の情報を発信していくことで裾野を拡大していく。また、消費者の声を生産者にフィードバックすることで、さらなる品質向上へつなげていきたい」と述べた。

TOKYO Xの流通販売組織であるTOKYO X Associationでは、販促用リーフレットなどに記載のQRコードから公式サイトを閲覧することが可能で、SNSでの情報発信なども行っている。公式サイトではTOKYO Xの販売店、提供店などをすぐに確認できる。